

中野区議会自由民主党議員団被災地支援派遣団のご報告

今回発生しました未曾有の災害「東日本大震災」につきましては、あらためまして犠牲となられた方々のご冥福と被災された方々に心からお見舞い申し上げます。

災害後の政府の対応の不手際で被害が拡大し、また災害対応の遅れがその後の復興に向けての動きに大きなダメージを与えていることはご存じのとおりでございます。

この災害に対しまして、私たち中野区議会自由民主党議員団 14 名は、6 月 1 日から 3 日までの三日間被災現場に入りました。発災直後より東松島市・岩沼市・亶理町にて自治体支援として現地で奮闘している中野区の職員から現状を聴き激励とともにその労をねぎらい、被災現場を直接視察し、当該自治体の首長以下幹部や議長を始めとした議会責任者と意見交換して状況の確認と今後の支援の在り方、またわが町中野区の安全安心に活かす事柄は何か、真剣に探ってまいりました。視察二日目には、ボランティアセンターに赴き、午前と午後、二か所の被災されたお宅を直接支援してまいりました。

私たち議員団の発意で、5 月 24 日開催されました中野区議会臨時会におきまして、「災害対策特別委員会」を設置いたしました。

この未曾有の災害の復興支援を通して、中野区の為の方策を今後議会を通して発信して参ります。

以下、今回の議員団視察メモ、ダイジェストでございます。

中野区の被災地に関する具体的な支援内容に関しましては、
区のホームページをご参照ください。

2011.06.01(水) 宮城県石巻市 視察

石巻港を基点に国内有数の生産拠点がある石巻市。生産施設も住宅街も壊滅状態。



2011.06.01(水) 宮城県東松島市駐在 中野区職員激励・情報収集

中野区は4月26日に復興支援に関する協定を締結した宮城県東松島市に対し、同市において5月9日から開始される被災家屋の解体および自宅敷地内に流入したガレキ等の撤去に伴う申請受付事務を支援するため、5月5日から先遣隊として事務職員2人を派遣し、5月6日から災証明書発行に伴う住宅被害の認定調査のため派遣する建築職員3人と併せて支援事務に当たっています。



2011.06.01(水) 宮城県東松島市 視察

今回訪問した3自治体の中で、死者・不明者・非難者数が一番多かった地域。



2011.06.02(木) 宮城県東松島市 ボランティアセンター

ボランティアは全て、このボランティアセンターを通して行われます。一日のボランティア後、持ち込んだ機材は全て、寄贈してきました。



2011.06.02(木)被災者支援ボランティア その1 民家の清掃

午前2時間のボランティア。掃き掃除・片づけ・床洗いと限られた時間で精いっぱい
清掃。



2011.06.02(木)

被災者支援ボランティア その2 畑(農地)に堆積した泥の搬出

午後2時間のボランティア。畑に積まれた泥。ガラ袋で搬出した数およそ400袋。



2011.06.02(木) 宮城県東松島市 阿部市長ほか市幹部と面会

東松島市、阿部秀保市長、市の幹部職員と面会。熱心に説明をしていただきました。



2011.06.03 (金) 宮城県岩沼市 視察

病院と公共施設とが近接する仮設住宅の理想形です。体育館には仮設住宅への引越し作業途中のわずかな世帯が残るのみでした。



2011.06.03 (金) 宮城県岩沼市

井口市長ほか市幹部と議会幹部と面会

32 か所、6,700 人に及んだ避難所生活者も順次仮設住宅などへ移行が進み、本日ゼロへ。今後は復興計画策定へと進む。そのメインはガレキ撤去。



2011.06.03 (金) 宮城県亶理町 視察

街は壊滅的だが、復興に向けて少しずつ動き出しています。ここにもボランティアによるサポートが見受けられます。



2011.06.03 (金) 宮城県亶理町

齋藤町長ほか町幹部と議会幹部と面会

打合せも庁舎脇のプレハブに設けられた仮設の町議会施設にて行われた。港湾施設、住宅、国内有数のイチゴ畑と町は壊滅的被害を受けたが、幸い毎年の防災訓練のお陰で児童の犠牲者はゼロであったとのこと。こちらでもガレキ撤去が課題。

